

広島県立世羅高等学校外国語科学習指導案

広島県立世羅高等学校

指導教諭 淀川 幸子

- 1 日時・場所 令和元年10月29日（火） 第5校時（13：35～14：25）・2年4組教室
- 2 学年・学級 2年3・4組発展クラス（24人）
- 3 科 目 コミュニケーション英語Ⅱ
- 4 単元名[教科書名] Lesson 8 “Edo: A Sustainable Society”
Revised LANDMARK English Communication II（啓林館）

5 単元について

（1）単元観

本単元は、「持続可能な社会」が実現していた日本の江戸時代の暮らしを取り上げ、循環型社会を支えていた庶民の行いについて書かれた説明文である。生徒たちは日常的に、ごみなどの環境問題について考える場面を体験しているはずであり、当時のリサイクルについての事実を知ることから、現代における大量生産・大量消費の状況や課題を考え直すことができる単元である。

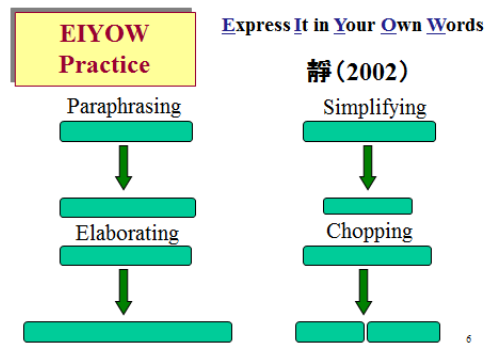
この文章は説明文の形式で書かれているが、生徒が初めて知る内容も多いことから、挿絵や資料（グラフ）を有効活用しながら、英文の内容を正確に読みとって、自分の言葉で説明することを目標とする。本単元の目標は、高等学校学習指導要領外国語「コミュニケーション英語Ⅱ」の「2内容（2）」の「エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること」に基づいて設定した。

（2）生徒観

本クラスは、第2学年普通科2クラスを習熟度別に3展開したうちの発展クラスである。1学期期末考査の結果を基に、現在の習熟度クラスを編成している。昨年度は、マイクロディベートや1 minute conversation などを通じて、「話すこと[やり取り]」を中心とした指導を継続し、教科書の本文やそれに関することなどについて英語で「話すこと」には慣れてきた。2年生になって、本文の内容が社会的要素を多く含むようになり、難易度が増し、英文を読んでもその解釈ができない状況がみられるようになり、生徒に読んだ内容に主体的にかかわりをもたせる工夫が必要となると感じた。5月中旬頃から、本文を自分の言葉で言い換えるEIYOW活動（Express It in Your Own Words：静哲人〔2000〕）を生徒に課し、理解した内容を表現につなげて理解を深める工夫を行っている。EIYOWの具体的な方法として、静（2002）は、次の4つを挙げている。

- （1）Paraphrasing 文字通り文章を他の英語を使って言い換える。
- （2）Simplifying 元の文をより平易な単語を用いて言い換える。
- （3）Elaborating 元の文をより難しい単語を用いて言い換える。
- （4）Chopping 元の文を、2文に分けて言い換える。

これを図で表すと次のとおりである。



ただし、(3)については、より難しい単語を使うというより、上図にあるとおり、具体例を加えるなどして詳細に述べるという方法で指導している。

生徒の発する EIWOW English を聞けば、その生徒がもとの英語をどれくらい理解しているかが、かなりの程度分かり、生徒はそれぞれの個性を活かした解釈ができる。よって、EIYOW によって、生徒の表現力を活性化し、スピーキング力を向上する訓練になるといえる。上記のうち、(1) (2)の方法で概要を表現することはできるようになっているが、(3)を使って詳しく説明することができない生徒が多い。背景知識や教科書の既習の事柄を用いて、本文の内容をさらに深めた表現活動ができるようにさせたい。

(3) 指導観

指導にあたっては、次の2点を工夫する。

ア 本文の内容やグラフ等の資料を読み取る指導の工夫について

- ①本単元では挿絵やグラフなどの資料が多用されているため、それらを用いて読み取りの視点を与えるなど有効活用し、本文の内容と重ねて、複数の情報を用いた正確な読み取りに繋げていく。
- ②教師が英文を解説する時、教師自身がEIYOWを行って発問をしていき、批判や評価を促す。また、本文に出てくる循環型社会に係る語彙を定義させることで生徒の理解を図り、本文を読む上で必要な知識を与える。

イ 学んだことをもとに、現在の世羅高校での資源の活用状況やその解決策を述べる指導の工夫について

- ①グラフを表現する際に使用する英語表現を与え、相手にグラフの数値を示しながら分かりやすく説明することができるように指導する。
- ②本文の表現を易しく言い換える、具体例を加えるなどして詳細に述べるなどの活動を、英文に応じて行う。
- ③江戸時代に行っていたことを現代に当てはめて考えさせることで、循環型社会を実現する為に必要なことを考え、ペアやグループで話させる。
- ④自分の身近な例として、世羅高校における「もったいない」を考えさせるように年間電気使用量のグラフを与えるなどして、現状と課題の分析をさせたり、解決策を考えさせたりする。

6 CAN-DOリストの形式による学習到達目標との関わり

本単元で育成したい力は、本校の「CAN-DOリスト」の形で学習到達目標（平成30年度入学生の3年間分）の「話すこと」の中にある「第2学年「話すこと」の「自分の身近な事柄について、自分の考えをペアやグループ間で話すことができる。」に基づいて設定している。

7 単元目標

- (1) ペアやグループで、積極的に自分の考えなどについて話す。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
- (2) 学んだ内容や関連する事柄について、自分の言葉で説明する。（外国語表現の能力）
- (3) 挿絵や資料（グラフ）を有効活用しながら、内容を正確に読みとる。（外国語理解の能力）

8 観点別学習状況の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
ペアやグループで、積極的に自分の考えなどについて話している。	学んだ内容や関連する事柄について、自分の言葉で説明することができる。	挿絵や資料（グラフ）を有効活用しながら、内容を正確に読みとることができる。	

9 指導と評価の計画（全 10 時間）

次	学習活動(時数)	評価					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
1	単元目標の確認及びパフォーマンス課題の予告 世羅高校の年間電気使用量グラフ分析	○				ア	ワークシート
2	Part 1 words, 読解QA, 今日のごみ問題について理解する			○		ウ	観察
3	Part 1 review Part 2 words, 読解QA 江戸時代の循環型社会について理解する			○		ウ	観察
4	Part 2 review EIYOW(Elaborating)で着物と紙の再利用について説明する		○			イ	観察
5	Part 3 words, 読解QA 江戸時代の循環型社会を支えた様々な仕事について理解する			○		ウ	観察
6	Part 3 review EIYOW(Elaborating)で江戸時代の様々な仕事について説明する		○			イ	観察
7	Part 4 words, 読解QA 江戸時代の自然環境と生活水準の変化を理解する			○		ウ	観察
8	Part 4 review グラフを見ながら本文の内容を用いて江戸時代の自然環境と生活水準の変化を説明する Part 5 words		○			イ	観察
9 本時	Part 5 読解QA ・江戸時代の循環型社会が成功した理由と現代における「もったいない」について説明する		○			イ	観察
10	【パフォーマンス課題】 世羅高校で取り組めるエコ活動について		○			イ	評価ワークシート
11	Lesson 8 まとめ ・パフォーマンス課題の振り返り ・章末問題			○		ウ	観察

10 本時の展開

(1) 本時の目標

○学んだ内容や関連する事柄について、自分の言葉で説明する。(外国語表現の能力)

(2) 本時の評価規準

○学んだ内容や関連する事柄について、自分の言葉で説明することができる。(外国語表現の能力)

(3) 準備物

○ワークシート

(4) 本時の学習の展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準 〔観点〕 （評価方法）
・あいさつ（１分） ・ウォームアップ（３分）	◇新出単語等を英語で説明する。	
・目標の提示（１分）	◇本時の目標を説明する。 「学んだ内容や関連する事柄について、自分の言葉で説明する。」	
・展開（４３分） １ 概要理解 ・内容に関する質問をして理解を促す。	◇概要理解 ・本文を自分の英語で表現できるようにする為、語やフレーズ、文章を理解しにくい箇所について、教師や生徒同士のインタラクションから答えを引き出す。 ◆既習の内容を思い出させながら、具体例を用いて説明する。 ◇本文を現代と置き換えるとどうなるか考えさせる。	イ（観察）
２ 発表その１	◇江戸時代の循環型社会が成功した理由を２つあげて、自分の言葉で説明させる。全体場で、４～５名の生徒に発表させる。	
〔発表例〕 In the Edo period, Japan had the isolation policy (Sakoku), so people did not have enough goods. That is why they had to recycle their goods. In addition, people in the Edo period were so modest and didn't like wasting things. They knew that nature is limited so they were satisfied with simple lives.		
３ 発表その２	◆和訳を見ながらの説明も可能とする。 ◇身の回りにおける「もったいない」について、解決策も含めて説明させる。ペア又はグループで意見を出し合い、意見をまとめて数名の生徒に発表させる。	イ（観察）
〔発表例〕 I think we use a lot of paper and it is mottainai, because teachers give us a lot of worksheets every day. Teachers should use both sides of the paper. We use too much paper and throw it away so it would be better to use tablets instead of paper.		
	◇時間がない場合は個人で答えさせる。	
振り返りとまとめ（２分）	◇本日の評価と次時の内容を提示する。	

11 単元末パフォーマンス課題

- ・パフォーマンス課題 “How to make Sera High School more eco-friendly”

世羅高校において、普段からごみの分別やごみを出さないことを意識しながら生活していると思います。このグラフは、昨年度の世羅高校で出した可燃ごみと不燃ごみの量を表すグラフです。ごみの処分には多大なお金を必要とします。

環境に優しい世羅高校にするために、生徒会の一員であるあなたは、「世羅高校におけるエコ活動」について全校生徒に呼びかけることにしました。そこで、次の1・2に示すことを踏まえて、解決策を提案してください。

- 1 世羅高校のごみの量について、複数の資料（グラフと行事表）から分かることとその原因
- 2 ごみを減らすために、世羅高校の生徒や教職員ができる解決策

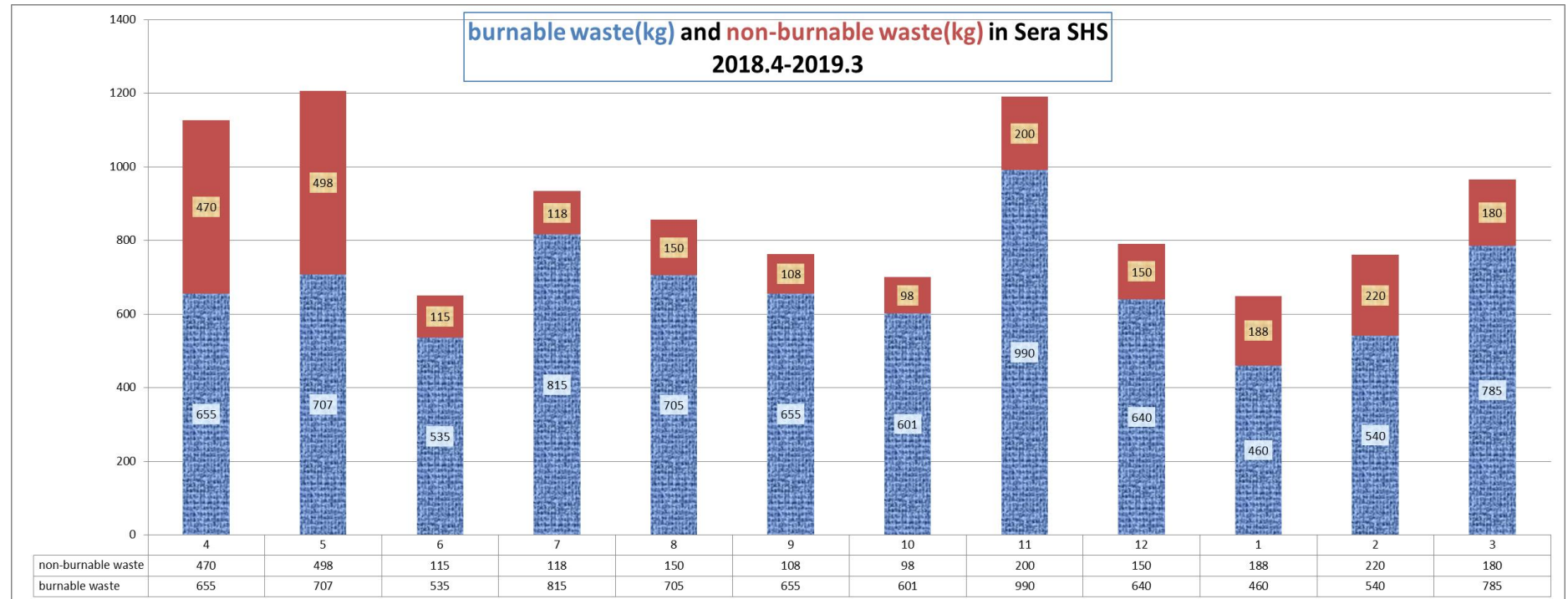
- ・評価規準

- ア 世羅高校のごみの量について、複数の資料（グラフと行事表）から分かることや想像される原因を説明している。
- イ 具体的な解決策を提案している。

・評価基準

A (十分満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する)
ア 世羅高校のごみの量について、複数の資料（グラフと行事表）から分かることや想像される原因を詳しく説明している。 イ 具体的な解決策を提案している。	ア 世羅高校のごみの量について、複数の資料（グラフと行事表）から分かることや想像される原因を説明している。 イ 解決策を提案しているが、具体性が不十分である。	ア 世羅高校のごみの量について、資料からわかることの一部しか説明されておらず、原因も不十分にしか説明されていない。 イ 解決策を提案していない。または提案していても具体性がない。
This data shows the amount of burnable and non-burnable waste that Sera High School made last year. The most waste was made in May, over 1200kg, while November came in second and April came in third. The least waste was produced in January and June. I think that is because there are many ceremonies and orientations at the beginning of the school year, and both students and teachers bring a lot of new materials with lots of packaging. Also, November is right after mid-term exam, so we can throw out everything we don't need anymore, and that produces a lot of paper waste. Also, November is when the Ekiden race takes place, so students are practicing harder than usual. Many students buy more drinks than they do in other months, and then discard the packaging at school after practice. We could have a campaign to make students and teachers more aware of all the waste we produce. I think paper waste is a big problem so teachers should use both sides of a paper. Also, students can all bring our lunches in reusable containers, and avoid wrapping our food in plastic.	This data shows the amount of burnable and non-burnable waste at Sera SHS last year. The most waste was made in May, November came in second and April came in third. The least waste was produced in January and June. I think that Sera High School makes a lot of waste in April and May because there are many ceremonies and mid-term examination so teachers and students throw away a lot of waste. Also, November is after mid-term examinations, so teachers and students throw away a lot of waste. We could have a campaign to reduce garbage. For example, we can use both sides of a paper.	This data shows the burnable and non-burnable waste last year. The most waste was made in May. I think that Sera High School makes a lot of waste in April and May because of the Entrance ceremony and Welcome orientation. We could have a campaign to reduce garbage.

“How to make Sera High School more eco-friendly”

[illegible]